

No.2 言う系の動詞の識別

【問題】

(1) Sally ( ) that she didn't like Tim.

- ① informed ② said ③ talked ④ told

(2) I was ( ) by my father that I would not be allowed to go abroad myself.

- ① told ② said ③ spoken ④ talked

(3) Could you ( ) me what time the train leaves?

- ① say to ② tell ③ talk to ④ speak to

(4) What did he ( ) you about his hope?

- ① say ② speak ③ talk ④ tell

【point】 言う系の動詞のまとめ

動詞	基本語法	例外の語法
tell	tell 型&give 型	・ 区別するという意味では直後に人は来ない (ex) tell A from B 「A と B を区別する」
say	say 型	・ 直後に発言は OK ・ It is said that S V~ 「S は V だと言われている」 ・ S is said to V 「S は V だと言われている」
talk	自動詞(直後に前置詞)	・ persuade 型の際は他動詞 talk 人 into ~ing 「人を説得して~させる」 out of ~ing 「人を説得して~するのをやめさせる」
speak	自動詞(直後に前置詞)	・ 直後に「言語」は OK (ex) I can speak English.

【メモ】

【解答】

(1) ② (2) ① (3) ② (4) ④

【解説】

(1) 選択肢の中で直後に **that** 節をとれるのは②の **said** のみ。**say** 型の基本形である **say to 人 that~** の **to 人** が省略された形。①の **informed** と④の **told** は **tell** 型の動詞なので直後に **that** 節をとることはできない。**that** 節をとりたいならば、**inform/tell 人 that~** の形にしなければならない。③の **talked** は自動詞なので **that** 節をとることはできない。

【訳】 サリーはティムが好きではないと言った。

(2) 受動態はややこしいので、能動態の文章に直してみよう。すると、**My father ( ) me that~** という形が浮かびあがってくる。ここで、**tell** 型の基本形のうちの一つである **tell 人 that~** を思い浮かべれば勝利。よって正解は①になる。他の選択肢だと、能動態に直した時に直後に人を目的語にとれることになる。それは **say, speak, talk** の特徴と矛盾しているので不可となる。

【訳】 私は一人で外国へ行ってはいけないと父に言われた。

(3) 空欄の後ろの形に注目。**me=人**、**what time the train leaves=名詞のカタマリ(物)**と気づくことができれば、空欄には **give** 型の動詞が入ると分かる。よって正解は②になる。他の選択肢は **give** 型の動詞ではないので不可。

【訳】 列車が何時に出るか教えてくださいませんか？

(4) 空欄の直後に注目。**you=人がきている**。選択肢の動詞の中で直後に人をとれるのは④の **tell** のみ。①の **say** はダイレクトに人を目的語にとれない。これを選んだ人は反省しよう。②**speak**&③**talk** は両方自動詞であり直後に名詞はとれないので不可。ちなみに今回の **tell** は **give** 型の **tell** である。人=**you**、物=**what** である。疑問文では **what** は先頭にきます。

【訳】 彼は自分の希望についてあなたに何と言ったの？